

No.05

障害者自立支援施設 たんぽぽ

障害者総合支援法に規定する施設で、常時介護を必要とする人に対して自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、排せつ、食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会、その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的としています。現在、利用者は25名です。



●当センター内での活動



たんぽぽは、過去に四郷高校の演奏会などで体育センターを利用しました。障害支援区分6にあたる利用者の方が多く、ボッチャなどを体験できれば良いのですが、コロナウィルスの流行が落ち着いてから利用を考えようと思っています。

体育センターは広々として開放感があり、当施設に隣接しているので、常日頃から有効活用できたらと考えております。

●最近のトピック

コロナウィルスの流行以来、たんぽぽオリンピックと夏祭りのみ施設内で実行することができましたが、それ以外は実行できていません。

コロナ禍の中、施設内でできることを考え、ご利用者様が安心・安全・快適に過ごせるよう取り組んでいきたいと思っております。

最後に、9月にたんぽぽの広報紙が発行されますので、よろしくお願いいたします。



障害者自立支援施設 たんぽぽ
三重県四日市市西日野町4070-1
TEL：059-322-5567

たんぽぽ広報紙
バックナンバー
(四日市市社協HP)



防災の取り組み

当センターでは、平成7年の阪神淡路大震災の教訓を受け、近隣施設（共栄作業所、たんぽぽ、にじ学園等）で協力し防災対策を行っています。

当館がある地域は福祉施設が集合しており、西日野福祉ゾーンと呼ばれています。

・合同防災会議

西日野福祉ゾーンの防災に関する方向性を決める会議で、年3回行います。この会議にて、年間の合同防災訓練・研修の日程などを決めます。

・MCA無線、トランシーバー訓練

MCA無線とは災害に強い無線のことで、四日市市庁舎の危機管理室からの通信の受信テストを3か月に1回行っています。

トランシーバー訓練は近隣施設間で通信を行い、通信状況をお互いに報告します。訓練は毎月初めに行います。



・合同防災訓練、研修

年1回の避難訓練（毎年11月）と、研修（毎年2月）を合同で行っています。

・防災用品の備蓄

当センター内に食料の備蓄を行う他に、館外に防災倉庫を設置しています。食品類は、期限が来たものは新しく取り替えて自治体などで消費します。



今年は、去年度に引き続きコロナウィルスの流行により会議や訓練が中止・縮小となり、職員間に十分な周知徹底が出来ないこともありました。基礎疾患を持つ方々が地域に多く、より感染症対策と災害対策の両立に細心の注意を払う必要があります。今後も、常に最新の情報を確認し、自治体とも連携し迅速に取り組みが出来よう目指していきます。